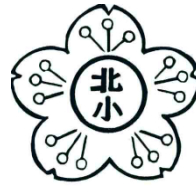


北小物語2018



平成30年10月15日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (51)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いっしょ』『いっしょ』『いっしょ』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第51話：「その道の達人に出会う～北っ子の生き方を変える特別授業～」の巻 ☆☆☆



その道の達人との出会い!!

北っ子の生き方を変える「特別授業」

4年生総合：「紙はゴミじゃない」

特別講師【達人】：小六信和氏（岡山県在住）



10月1日（月）4年生総合学習の時間に現れた達人は、コロック先生こと小六信和さんです。小六さんは、岡山県にあるリサイクル工場の社長さんで、全国の小・中学校を回り、古紙のリサイクル授業を無償で行っている「リサイクル達人」です。昨年度も本校4

5年生（現5・6年生）に授業を行っていただきました。

コロック先生の情熱あふれる授業は、子どもたちを引き付け、夢中にします。「ゴミ箱に捨てられる紙を一枚でも多く救い、再生紙として生き返らせたい。」そうすることで「地球上のいのちを支える木を守りたい。」これが、古紙リサイクル事業に携わるコロック先生の願いです。この思いを多くの子どもたちに伝えるために全国を駆け回っているのです。授業では、木から紙が作られる過程を学び、一度使った紙が新しい紙に生まれ変わる仕組みを学びました。そして、実際に4年生教室にあるゴミ箱に捨てられていた紙を新しい紙（ハガキ）に生き返らせる実験をしました。この紙の再生を妨げていること、それは、ゴミの分別を疎かにする私たちの生活にあることに気づいた子どもたちです。

授業の最後に子どもたちとコロック先生が拳を突き上げ、一緒に雄叫びを上げました。「紙はゴミじゃない！」と。

達人の方のお話は、まさに本物で心に染み入ります。これからの北っ子たちの生き方に大きな力を与えてくれます。

5・6年生総合「私が見た世界」

特別講師【達人】：佐野屋優二氏（平戸市出身）



10月3日（水）5・6年生総合学習の時間に現れた達人は、平戸市出身の佐野屋優二さんです。佐野屋さんは、20歳の頃から、65歳となった今日まで、大いなる好奇心に駆られ、その人生のほとんどを外国で生活してきました。まさに「世界を知る達人」です。

カナダのバンクーバーを拠点に生活をしている時は、スキーに魅了され、インストラクターの資格を取得して生計を立てていたそうです。また、ヨットの旅をはじめ、クルージングにも興味をもち、旅行で外国に来られる日本人のツアーに参加し、名所を案内する仕事にも携わってきました。そのような中で、カナダの森やアラスカの氷河など、美しい自然に触れるとともに、その素晴らしい自然が危機にさらされている現実にも向き合ってきました。これからの未来を担う子どもたちに、佐野屋さんは、この現実を伝えたくて田平北小学校に来てくださったのです。また、グアテマラの豊かな文明と同時に、学校に行けず昼間も働く子どもたちの姿を映像で伝え、この地球上に展開する世界の様子を分かりやすく熱く子どもたちに語ってくれました。

授業の最後に佐野屋さんが子どもたちに声をかけました。「海外に出てみると見えるものがある、夢をもって！」と。

